

第73回大会

関西教育学会第73回大会は、依然として新型コロナウイルス感染拡大が収束しない状況に鑑みて、昨年度に引き続き Web 開催の学会となります。

「自由研究発表」は、口頭発表資料を学会ホームページに掲載するという形態で実施いたします。「公開シンポジウム」については、同じく学会ホームページにおいて、あらかじめ収録した動画を配信いたします。

1. 日時 2021 (令和3) 年 11 月 15 日 (月) ～11 月 21 日 (日)

※ この期間内に「自由研究発表」の口頭発表資料および「公開シンポジウム」の動画を閲覧 (無料) することができます。

公開シンポジウム

今、教師の養成・研修に求められること——省察する力・つなぐ力

シンポジアスト

西野功泰 (札幌市教育委員会)

村井尚子 (京都女子大学)

竹村謙司 (奈良教育大学)

指定討論

朴聖希 (奈良女子大学大学院博士後期課程)

鮫島京一 (奈良女子大学附属中等教育学校、福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職大学院兼任)

司会

赤沢早人 (奈良教育大学)

西村拓生 (立命館大学)

【趣旨】

文部科学省のハッシュタグ「#教師のバトン」が“炎上”したニュースは記憶に新しい。今日の学校現場の過酷な状況が顕在化し、教職志望者が減少する事態に私たちは直面している。それに対応するためには、教師の負荷を軽減する制度的な改革が不可欠であることは言うまでもない。と同時に、しかし現場は制度改革を待つばかりではいけない。私たちは、今の状況を生きる教師を教員養成課程において育て、また研修を通じて支えねばならない。教師の力量や専門性の向上といった課題が叫ばれて久しいが、それが単なるお題目に終わらず、真に教師の仕事を支えるものになるためには、何が必要だろうか。

今回の大会を共催する奈良教育大学と奈良女子大学は、いずれもかつての師範学校、女子高等師範学校をルーツとする大学である。その二大学は、令和4年度からの法人統合——それ自体が今日の教職を取り巻く厳しい状況の一つの反映である——を機に、上述のような課題に応え得る新しい教員養成・研修のあり方を模索している。今日、教師の養成・研修に求められる課題は多くあるが、今回のシンポジウムでは、奈良における私たちの取り組みに即した二つのテーマに焦点化して、それを考えてみたい。

一つは「省察する力」ということである。教員養成課程では体験を通じた学びがいっそう重視されるようになってきている。しかし体験が本当に教師としての力量につながるためには、それを然るべき仕方で省察することが必要である。それは現職教員の研修にとっても同様に死活的である。では、教師を育て、支える省察とは、如何なるものか。

もう一つは「つなぐ力」ということである。困難な状況の中で子どもたちと向き合うために、今日の教師には、かつてにも増して同僚と連帯し、保護者とコミュニケーションを図り、地域と連携し、自らを支えるネットワークをつむぐことが求められている。そのために必要な力とは何か。それを教員養成・研修は如何に育てることができるのか。

シンポジウムでは、実習体験を省察する教職課程での授業実践や教職大学院での現職研修の取り組み、学校現場や教員養成課程における地域連携の実践について報告していただき、それらを共同的に省察することを通じて、上記の課題に取り組んでみたい。

自由研究発表

1. 教育思想・哲学

- ・ ポリティカ第六巻における線分の比喩とプラトンの教育
東敏徳（幼児教育専門学校）
- ・ 知識・情報の不確実性がます時代に必要な教育を考えるー主体の有限性・ばらつき・多様性から出発する教育の「正解教育」にない強さー
守屋明佳（仮説実験授業研究会）
- ・ 「できる」ようになることを志向する教育観・人間観に対するオルタナティブの探究
○森岡次郎（大阪府立大学）、福若真人（四天王寺大学）

2. 教育史・文化史

- ・ 寺子屋における往来物と道徳的教訓ー近江国五個荘、寺子屋時習齋を事例としてー
和田充弘（びわこ学院大学）
- ・ 戦前京都府における「小学校教員無試験検定認定校」の認可過程
遠藤健治（美作大学）

3. 学校教育①

- ・ 「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す特別活動の学びと役割
島田喜行（同志社大学）
- ・ 起業家教育が子どものキャリア発達に及ぼす影響ー特別の教科「道徳」の視点からー
青木信一（大阪市立白鷺中学校）
- ・ 「総合的な学習の時間」が児童の成長に与える影響とその課題ー淡路市立仁井小学校での実践と10年後の調査からー
大西慎也（京都ノートルダム女子大学）

4. 学校教育②・社会教育

- ・ 戦後日本における教育と福祉の関係論の形成
鈴木敦史（東海大学）
- ・ 学校保健活動における保健主事の役割と今後の課題ー保健主事を対象としたアンケート

ト調査の結果から一

国吉恵一（京都産業大学）

- ・ 音楽科における教師の「信念・価値観としての知」はコロナ禍によって再構成されるのか一教師のライフヒストリー研究を援用して一

高見仁志（佛教大学）

- ・ 地域子育て支援拠点におけるソーシャルワークの現状と課題（2）一拠点従事者へのサービス利用支援に関するインタビュー調査を通して一

新川泰弘（関西福祉科学大学）

5. 教育方法

- ・ 「子どもにとってのクリスマス」について一フレール教育論文集「カイルハウ学園のクリスマス祭の催し」から

馬場住子（大阪千代田短期大学）

- ・ 加藤幸次による個別化・個性化教育の意義と課題

肖瑶（京都大学・大学院生）

- ・ 日本におけるサービス・ラーニングの展開（23）一コロナ禍での教科「人間と社会」の運営から一

大東貢生（佛教大学）

6. 教科教育

- ・ 「情報を精査・解釈する力」の育成を目指した小学校国語科における授業づくりの一考察

高橋由衣（神戸大学附属小学校）

- ・ 第4学年の算数科教科書には、どのような付録があるのか一6社が準備している付録の内容調査

木村憲太郎（岸和田市立八木小学校）

- ・ CEFR-J C2 レベルの自由英作文の統語的複雑さの分析：パイロットスタディ

平林健治（大同大学）

- ・ ドイツにおける教育的スポーツ授業論の教授・学習原理に関する検討一1999年 NRW 州スポーツ科学習指導要領を中心に一

今野賛（姫路大学）

7. 幼児教育・臨床教育

- ・ 保育内容（環境）における遊具・玩具の理解と保育実践に関する一考察
田中卓也（静岡産業大学）
- ・ 絵本の翻訳は文章に対する学生の認識を高めるか—領域「言葉」に関する授業実践から
伊藤美和子（豊岡短期大学）
- ・ 村瀬学による子どもの^{コスモロジー}世界論における「理解のおくれ」
吉田直哉（大阪府立大学）
- ・ 幼稚園教諭のプログラミング教育に対する意識と幼児の姿から捉えた「思考力の芽生え」—就学前プログラミング教育カリキュラム開発のための幼稚園教諭アンケートを通して—
○鍛冶谷静（四條畷学園短期大学）、安谷元伸（同）、合田誠（同）

8. 特別支援教育

- ・ 特別支援学級児童の現状と学校園に求められるもの
中間茂治（大阪府立大学・大学院生）
- ・ 特別支援学校における子どもの内面を育む給食指導の実践
藤澤憲（和歌山県立紀伊コスモス支援学校）
- ・ 保育者養成校における発達障害を抱える学生へのキャリア支援の一考察
林静香（華頂短期大学）
- ・ 色覚特性に関する教育講演受講後の保育教諭等の意識の変化—園におけるよりよい色彩環境や教育のあり方とは—
阪本美江（大阪芸術大学短期大学部）

9. 生徒指導

- ・ 児童生徒指導における「校則」をめぐる今日的課題—児童生徒にとって理不尽な校則、指導とは何か—
長谷川誠（神戸松蔭女子学院大学）
- ・ ネットいじめの構造とその対策に関する実証的研究（Ⅷ）
原清治（佛教大学）、松浦善満（大阪千代田短期大学）、○浅田瞳（華頂短期大学）

- ・ 第三者調査委員会報告書分析によるいじめ重大事態の学校要因といじめ防止策
中村豊（東京理科大学）
- ・ オンライン（ZOOM）を活用した不登校支援の試み
八田友和（クラーク記念国際高等学校）

10. 高等教育・教員養成

- ・ 大学入試と大卒就職の関係
西丸良一（同志社大学）
- ・ キャリア教育における学生の「社会人基礎力」育成を考える
藤重育子（神戸医療福祉大学）
- ・ 日本における男女共同参画社会の展開(2)―官学連携による座談会の実践―
富川拓（聖泉大学）
- ・ 教職課程履修者の ICT 活用指導力の育成を目指した取り組み―学生と現場教員のデータ比較を元にした教育方法の検討―
藤原靖浩（関西福祉科学大学教育学部）

※ プログラムに掲載されていた発表予定者のうち、第1分科会の朝倉愛里氏、森亘氏、第2分科会の加藤剛氏、第3分科会の田中達也氏、第4分科会のミンガド・ボラグ氏、第5分科会の児玉英靖氏、第7分科会の吉次豊見氏はご発表を取りやめました。